

[004]糟屋演習林植物調査

初島, 住彦
九州帝国大学助手

<https://doi.org/10.15017/14203>

出版情報 : 九州帝国大学農学部演習林報告. 4, pp.1-267, 1934-01. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :

序 言

本報告は本大學農學部附屬糟屋演習林に於ける植生と高等植物の種類分布とに就き九州帝國大學助手農學士初島住彦をして調査せしめたるものを載録せるものである。糟屋演習林は三百七十陌に過ぎざる小面積の森林なるも、其位置本學を距つる僅かに十軒、汽車に依れば吉塚驛より二十數分にして篠栗驛に達し、それより徒歩數町にして到るを得べく、本農學部に於ては林學科學生の植物採集、森林生態調査、森林經理學、測樹學、森林土木學、森林測量等の林學實地演習地として常時使用する處である。然るに演習林設定以來未だ植生及植物分布に就き詳細なる調査をなせしことなきを以て今回本學造林學教室に勤務して樹木學を專攻する初島助手を煩はし春夏秋の各季に亘り數回の實地調査をなさしめて演習林内に生育する全高等植物の種類と其分布状態並に植相を明かにし得たるに依り、林學上の各種調査の基礎たり得るは勿論學生の演習並に學術上裨益する處多きを認め茲に出版して發表することゝしたものである。

昭和九年一月

演習林長 土井藤平